

お彼岸を迎え、季節の移り変わりを感じる毎日です。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

当センターでは、愛知県市民後見人養成講習がスタートする事を受け、今後、新しく活動員さんが増えることを期待し、活動のしやすい仕組み作りについても考える機会となっています。

被後見人等のためだけでなく、活動の継続・意欲の維持向上など、活動員の立場でも意見交換しております。



運営委員会より

7月はあいトピア、8月は高師王寿園にて開催されました。

様々な場面をイメージして、当センターのマニュアルの見直し・作成に向けて話し合いを重ねています。また日々の悩みや迷いを共有し、ベテラン活動員も新人活動員も気兼ねなく、発言出来る場にもなっています！

是非、皆さんのお声もお聞かせ下さい。

ご報告

新規受任者

令和7年8月から Tさん 女性 78歳 後見

Tさんが安心してTさんらしく生活できるよう関わらせて頂きます！

訃報 Oさん 7月13日 老衰のため 逝去(87歳)

Sさん 8月13日 肺がんのため 逝去(77歳)

ご冥福をお祈りいたします。

関わらせて頂いたことに感謝致します。

令和7年9月現在 受任者 31名 活動員 9名

活動継続のために・・・

我々の活動は皆さんの会費・寄付金のおかげで活動継続ができております。皆さんのお力添えに感謝致します。

現在31名の利用者の財産管理と身上監護に関わっています。法人受任のメリットを最大限に活かし、市民成年後見人としてより良い支援ができるよう日々、模索しております。これからも活動継続していく為の寄付金を随時募集しております。

寄付やご支援・ご協力をお願い致します！！



活動を通して感じたこと・・・

7月の末、Kさんは老人ホームの居室で転倒し、救急搬送され、左大腿骨頸部骨折で医療センター入院となりました。

緊急手術の必要もあるという医師の説明に、医療行為に同意は出来ない立場の私はドキッとしました。急いで、緊急時のみ電話連絡の許可をもらっていた遠方に住む息子さんへ連絡し、なんとか対応して頂きました。手術も無事終わり、療養生活を送っていると、お盆でお休みがとれたと息子さんから連絡が入り、なんと車で7時間かけ、お見舞いに来て下さったのです！！

本当に久々に会うKさんにたくさんのプリンやゼリーの差し入れを用意し、穏やかな表情を見せる息子さん、その息子さんをじっと見つめるKさんに私も心が温かくなるのを感じました。私は息子さんとは、月に一度メールでKさんの状況報告をし、時々返信を下さる関係でしたが、直接お会いし、お話をする中でKさんへの思い、幼少期のお話などまで教えて下さり、別れ際には何度も感謝の言葉を・・・私の心には安心感と共になんともいえない充実感を感じました。Kさんは今回の件で、大変痛く、つらい思いもされましたが、息子さんの愛情に触れ、貴重な時間を過ごされたと思います。今では私も以前より密にメール連絡させてもらっています。人との繋がり大切さを改めて感じる出来事を体験させて頂きました。

活動員 M

残暑ではなく、猛暑が続いている今日、社員（活動員）の皆様、後見活動に努め、感謝しています。

体をこわさず、今後もよろしくお願い致します。

理事長 今泉博充